



























## 室内機の設定切替 (富士通ゼネラル製使用時※)

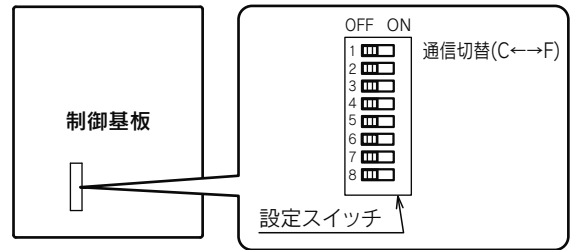
- 富士通ゼネラル製の室内機を使用するときは、設定の切替が必要です。
- お買い求め時は「サンポット製」に設定されています。
- 電源プラグを差し込む前に切替えてください。
- 富士通ゼネラル製の室内機を使用するときは、下表に従い制御基板上の通信切替(C↔F)スイッチ(設定スイッチ1)を「富士通ゼネラル製」に切替えてください。



設定スイッチ	サンポット製	富士通ゼネラル製
通信切替(C↔F)	OFF	ON

※対象機種は下記6機種です。

KH-60HAA-S KH-60HT-S KH-60HR-S  
KH-60R-W KH-60HP-W KH-60P-W

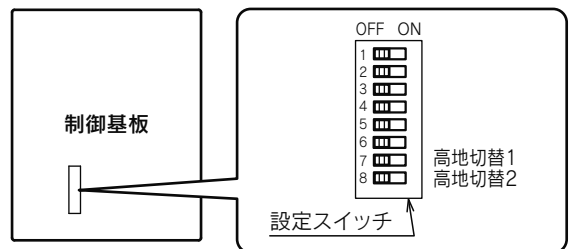


## 500m以上の高地で使用するときの処置

- 標高500～1,500mの高地で使用するときは下表に従い制御基板上の高地切替1・2スイッチ(設定スイッチ7・8)を切替えてください。
- お買い求め時は「500m未満」に設定されています。
- 電源プラグを差し込む前に切替えてください。
- 標高1,500mを超える場所では使用できません。



設定スイッチ	500m未満	500～1,000m以下	1,000～1,500m以下
高地切替1	OFF	ON	OFF
高地切替2	OFF	OFF	ON

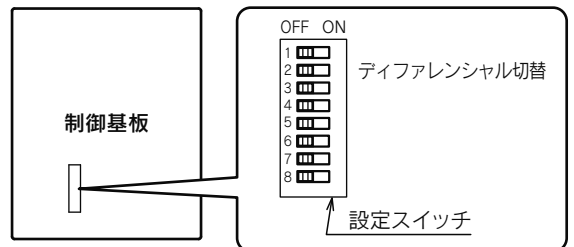


## デファレンシャル温度の設定

- デファレンシャルとは燃焼を停止する温度と再び燃焼を開始する温度との温度差のことです。
- 制御基板上のデファレンシャル切替スイッチ(設定スイッチ2)でデファレンシャル温度を「15℃」に変更することができます。
- 実際の出湯温度は循環量やシステムにより設定温度とは異なることがあります。
- お買い求め時は「通常(10℃)」に設定されています。
- 電源プラグを差し込む前に切替えてください。



設定スイッチ	通常(10℃)	15℃
デファレンシャル切替	OFF	ON



## 据付工事後の点検・確認

- 据付工事が終わりましたら、もう一度確認してください。

### 機器およびその周辺

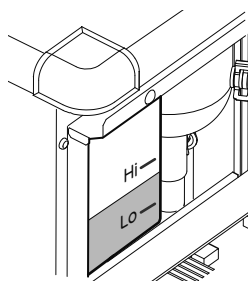
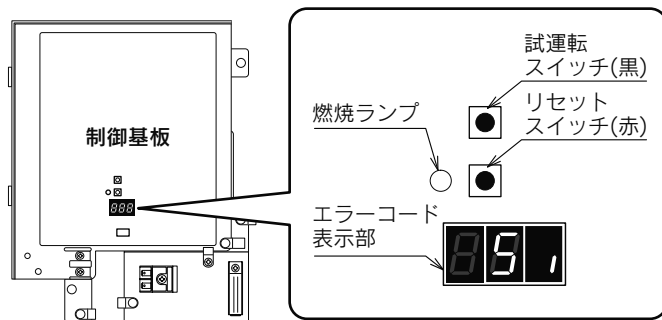
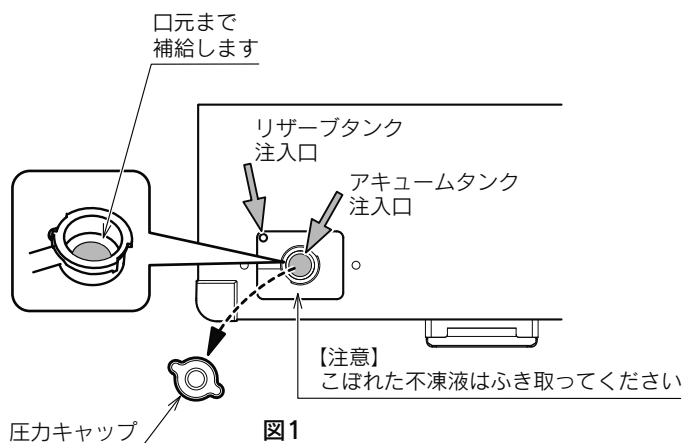
- 可燃物との距離および防火上の処置は充分ですか。
- 点検・修理など保守・管理上必要なスペースはありますか。
- 設置条件を満たしていますか。
- コンセントの上に温水配管はありませんか。
- 機器や配管の接続部から不凍液漏れはありませんか。
- 機器・油タンク・送油経路に油漏れはありませんか。

### 電気配線工事

- 機器およびリモコンへの配線は、指定された工事で行われていますか。
- D種接地工事は行われていますか。

# 不凍液の補給

1. 機器上部の給水口ふたのねじ(2本)をはずし給水口ふたをはずします。
2. 前パネルを止めているねじ(2本)をはずし、前パネルをはずします。
3. 室内機(ファンコンベクター)、機器へ電源が接続されていることを確認します。
4. アキュームタンク上部の圧力キャップを左に回してはずします。(図1)
5. 制御基板上の試運転スイッチ(黒)を押します。(図2)  
エラーコード表示部に「5」表示が点滅します。
6. 下表をめやすにして不凍液をアキュームタンク注入口から給水します。
  - ・ 不凍液が一定水位まで入ると「5」表示が点滅から点灯にかわり、循環ポンプが運転します。
  - ・ 不凍液が一定水位以下になると「5」表示が点滅します。そのときは不凍液を補給してください。
  - ・ 循環ポンプから「シャーシャー」と音がして水位が減少しなくなったときはエアがみえています。
7. 循環ポンプから音が聞こえなくなり、水位の減少や循環ポンプ停止後のあふれがなくなってから、(この状態で10分以上運転し配管内のエア抜きを行ってください。)循環ポンプ運転中にアキュームタンク注入口の口元まで補給し、圧力キャップを取付けます。圧力キャップは右に回してストッパーにあたって止まるまで確実に締めてください。(図1)
8. 試運転スイッチ(黒)を「切」にし循環ポンプを停止させます。「5」表示が消灯(図2)
9. リザーブタンク注入口から不凍液を規定水位(HiとLoの間)まで補給します。(図1、3)
10. 給水口ふたを元通りに取付けます。
11. 前パネルを元通りに取付けます。



## ●不凍液量のみやす

型名	不凍液量(L)
CURS-903CSO	13.0
FC-63PWS	0.56
FC-43PWS	0.45
φ9.52ツインチューブ銅管 (10m: 往戻計20m分)	1.0
10A架橋ポリエチレン管 (10m)	0.79

最大システム保有水量 70L

# 不凍液について

1. 循環水には凍結予防及び腐食防止のため、必ず当社純正温水暖房用不凍液(別売部品)を使用してください。当社純正以外の不凍液を使用されると缶体の音鳴りや腐食による内部からの液漏れが発生するおそれがあります。絶対に使用をお避けください。
2. 当社純正不凍液の割合は各地の凍結温度条件により、選定してください。
  - 不凍液割合と凍結温度は不凍液の容器に記載しています。
  - 計算式 : [(器具本体容量) + (放熱機などの総内量) + (配管の総容量)] × 不凍液割合 × 0.01 = 不凍液の必要量
3. 使用中に不凍液が蒸発して水位が下がった場合、当社純正温水暖房用補充液(別売部品)を補給してください。
  - ・ 補充液を補給することにより、不凍液の交換時期は6~7年となります。

# 試運転

- 試運転は必ずお客様と一緒に行ってください。

## 1 試運転前の確認

準備内容(確認事項)	チェック
1. 油タンクに灯油が入っており、送油経路の空気抜きができていますか。	
2. 油タンクや送油管の送油経路から油漏れはありませんか。	
3. 送油管が逆U字型になっていませんか。	
4. 機器や配管から不凍液漏れはありませんか。	
5. 電源プラグはコンセントに差し込まれていますか。(接続した機器すべて) (取扱説明書 13 ページ参照)	
6. 不凍液は規定水位(HiとLoの間)まで入っていますか。	

## 2 試運転

- 試運転時は内部の防錆油が燃える(気化する)ため、煙や臭いが出ることがありますが、しばらく燃焼すると防錆油が燃える煙や臭いは出なくなります。
- 制御基板上のエラーコード表示部にエラーコードが表示されてバーナーが停止したときは、配線図の「エラーコード一覧」を参照して確認・処置を行ってください。

### 1. 運転開始

機器と接続している室内機(ファンコンベクター)の運転スイッチすべてを「入」にしてください。

### 2. 正常運転のめやす

室温調節ができること、タイマー運転ができること、機器の排気口からススや煙が出ていないこと、機器や接続している室内機(ファンコンベクター)などから異常な音がしていないことを確認してください。

### 3. 停止

機器と接続している室内機(ファンコンベクター)の運転スイッチすべてを「切」にしてください。

# 引き渡し

## お客様への説明

- 取扱説明書に従い取扱方法をお客様に説明してください。
- 保証書に必ず必要事項をご記入の上、お客様にお渡してください。(保証書は取扱説明書の巻末です。)  
また、取扱説明書に従い「アフターサービス」について説明してください。

## 所有者登録へのご協力をお願いします

- 所有者票の「販売店・販売会社記入欄」に記入し、お客様にお渡してください。
- 取扱説明書に従って所有者登録についてお客様に説明してください。またお客様のご了解のもと、販売店・販売会社は所有者登録を代行することもできます。

# 廃棄するときの注意

- 機器を廃棄するときは、必ず灯油と不凍液を抜いてください。リサイクルの支障となります。  
※不凍液の廃液は環境汚染などのおそれがあり法令で義務づけられていますので、産業廃棄物処理業者に処理を依頼してください。

 **サンポット株式会社**

〒025-0301 岩手県花巻市北湯口第2地割1番地26

お客様相談窓口 TEL 0198-37-1177

[受付時間: 平日午前9時から午後5時まで]

サンポットホームページ <https://www.sunpot.co.jp/>